



ゴミゼロ事業所が提案する新しいワークスタイル

■活動時期 → 通年

■活動場所 → 高知～全国

■主な活動メンバー：社員

【ホームページ】

<http://www.r-kansai.rioh.co.jp/>

■ IT経営の実践から環境に優しい事務所を創設

【高知事業部の取り組み】

◆「ゴミゼロ」事業所

個人のごみ箱を完全撤去する事から始まった「ゴミゼロ事業所」。

事業所から発生する廃棄物は徹底的に分別、100%再資源化することで「ゴミゼロ」を実現。ゴミ回収BOXを1階と2階の各1カ所にのみ設置し、分別の仕方が一目で分かるように掲示して、その場で分解できるように道具も用意。また、分からないものは「わからんBOX」に入れてもらうなど、様々な工夫を凝らしている。



フタがなく中身が見えるのがポイント



分別BOXに設置された分解グッズ



シュレッダーにはホッチキス針とり



どうしてもわからない時はココ



廃棄物がどのようにリサイクルされるかの掲示も

◆ペーパーレスオフィス

極力紙を出さないようほとんどの情報を電子化し、経営のスピードアップと合理化を実現。

(電子化は情報流出に厳重な注意が必要となるため、セキュリティ強化も徹底)

また、電気も必要となるのみをつけるようスイッチに印をつけて

分かりやすく示し省エネを徹底。環境に優しい事務所作りを心がけている。



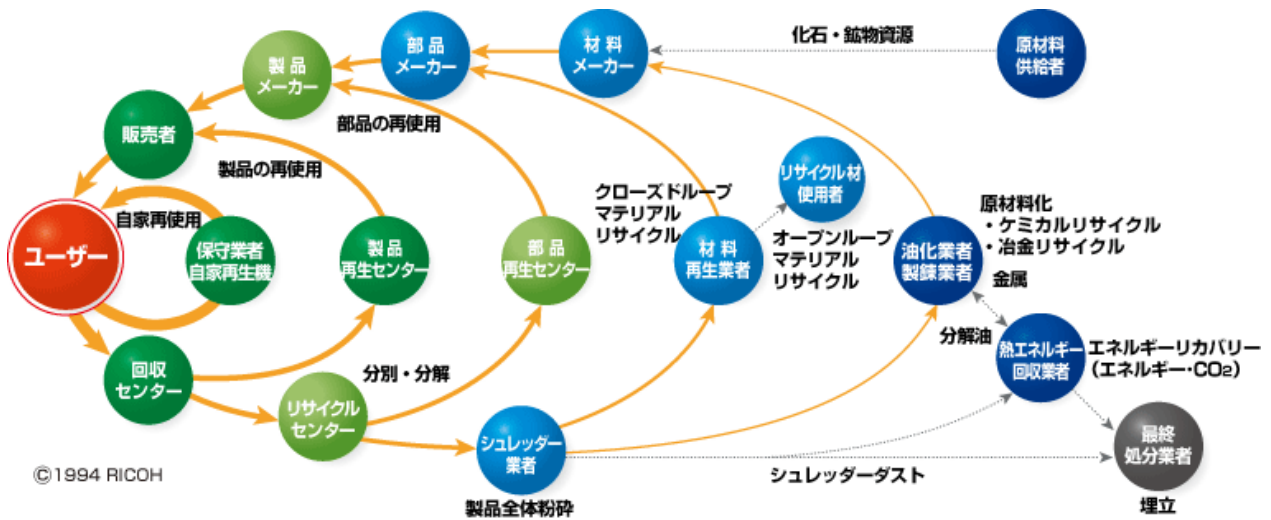
デスクに紙類はほとんどなく、蛍光灯も必要な場所だけ点灯



つけるスイッチはシールで目印。ストップ温暖化の呼びかけ文も。

【リコーグループの取り組み】

◆ 循環型社会のコンセプト「リコーのコミットサークル」



コミットサークルの上側ルートは、材料や製品の供給で、下側ルートがリサイクルとなっている。リサイクルにも優先順位があり、まずはなるべく製品のまま整備して再使用、次は部品のみ再使用、再使用できないものは材料として再利用する。このようになるべく内側のループを優先して回す事により、効率の高い環境負荷削減ができる。

(例) リースが終わった機械 → 分解して整備 → 悪い部品のみ交換 → 再生機をお客さまへ再提供
(→ 交換部品も再生利用)

◆新製品における省エネの工夫

コピー機のスタートアップ（ウォームアップ）が早くなるように改善。

(昔の機種はウォームアップに時間がかかっていたため、電源を入れるとそのまま入れっぱなしにしていた。)

◆モーダルシフト

輸送に使っていたトラックをCO₂排出の少ない船やJRに変更。輸送コストの削減にも繋がっている。

◆機械の梱包

お客さまへ直接届ける時などは繰り返し使えるエコ梱包を利用する。
保存をするときはダンボールに入れておくなど、状況に応じてうまく使い分けている。



◆森林保全活動

地域への社会貢献及び地球温暖化防止を目的にした森づくりを実施。
山の間伐を行う際は社員だけでなく、家族も一緒に参加し、間伐材により家具づくりなど、楽しみを持てるような形で行っている。

◆県民の皆さんへ一言

リコー関西(株)四国支社 高知事業部では、IT経営の実践からペーパーレスオフィスの創設と、事務所から発生する廃棄物を100%再資源化する事により、3R化推進を図っています。
その結果、経営の合理化とスピード化を実現。皆様の事務所が抱える課題解決のお役に立てるよう、実際に働いている私たちのオフィス環境を「ライブオフィス」として公開しています。是非ともご来場下さい。

(平成21年10月現在)